



つなぐ手 気仙

学校教育目標

- かしこく（本気）
- やさしく（優気）
- たくましく（元気）

登校時避難訓練

6月27日（火）登校時避難訓練を行いました。その内容は・・・。

- ・朝7：30、震度5弱の地震発生 続いて大津波警報が発令された。
- ・集団登校班は、班長の指示で近くの高台に避難する。
- ・登校見守り隊の方々も共に避難し、各班の無事を確認した後、学校へ連絡する。
- ・学校周辺の高台に住んでいる児童は、自宅待機とする。
- ・警報が解除になったら、登校を再開する。



というものでした。

各班とも、班長の指示で、速やかに行動できました。

日頃から災害発生の場合を考えておくことが大切です。

全員学校に登校してからは、班ごとの反省会と、校長講話を行いました。

校長からは以下のようなこととお話ししました。

- ・自宅や通学路など、日頃自分がいる（通る）ところが自然災害の際に危険がないかどうか、ハザードマップをみて、確認しておくこと。
- ・災害発生時は、まず、自分の身を守る行動を最優先にすること。
(サルポーズやダンゴムシのポーズなど)
- ・災害に対して、正しい知識を持ち素早く行動することで、ほとんど助かることができること。むやみに怖がるのではなく、「正しく恐れる」こと。
- ・いざというときのことを家族で話し合っておくことが大切であること。

最近では、線状降水帯が発生して、大雨の被害を受けているところもあります。「まさか」とならないよう、日頃の備えを大切にしていきましょう。



避難訓練にご協力いただいた見守り隊の皆様、保護者の皆様、そして、放送を受けて一緒に避難していただいた地域の皆様、本当にありがとうございました。



心に響いた鼓動！ ～芸術鑑賞教室～



今年の芸術鑑賞教室は、プロの太鼓奏者の方々の演奏を聴きました。3年生以上の児童

が一本松ホールでの熱い太鼓演奏に心を打たれました。力強い演奏、巧みな技、楽しい演出。どれも心に強く残りました。

気仙小学校でも、5・6年生を中心に太鼓の伝承活動を行っています。今回の演奏のように、聞いてくれる人たちの心に響く演奏をしていきたいです。



幻想的な影絵

6月30日（金）東京の影絵劇団アケビの会による影絵上映会が行われ、1～4年生が鑑賞しました。さるかに合戦などの物語や、歌などあつという間の45分でした。



暗い体育館の中に浮かび上がる幻想的な光の競演。素材はすべて手作りです。



上演終了後、裏を見ると、床いっぱい素材が広がっていました。それを手作業でスクリーンに映し出すのを見て、とても驚いていました。

芸術鑑賞の太鼓といい、影絵といい、本物に触れるとこんなにも心が動かされるのだと思いました。これからも、いろんな「本物」に触れる機会を持ちたいし、それに触れた皆さん自身が「本物」となることも大いに期待しています。



クレセント市の皆さん ようこそ気仙小学校へ



6月28日、当市を訪問していたアメリカはクレセントシティの訪問団一行が、気仙小学校を訪

問しました。

歓迎の証しとして、5・6年生による「気仙町けんか七夕太鼓」を披露しました。児童たちの堂々とした演奏に、訪問団の方々は大変喜んでくれまし

方との研修会を音のホールで行いました。でも、訪問団には8歳の女の子も参加しており、研修会には加われません。

そこで急きょ3・4年生との交流会を開くこととしました。



女の子のお母さんと通訳さんと3

・4年生のみんなは、折り紙やゲームなどを一緒に楽しみました。これまたいい機会となりました。

こうして育んだ絆を、これからも保っていききたいです。

ありがとうございました

6月11日、三本松地区の皆さんが、通学路の草刈りをしてくれたという報告をいただきました。夏になり、草類もたくさん茂るようになりました。そんな中、本当にありがたいです。

また、他にも個人で草刈りをしてくださっている方々もいらっしゃいます。子供たちの安全は、こうして地域の方々に見守られているのですね。